

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 強度変調放射線治療における新たな Patient Specific QA 手法の開発
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 中央放射線部（研究責任者）比内聖紀
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 12（西暦 2030）年 10 月 31 日
＜対象となる方＞ 放射線治療科で強度変調放射線治療を受けられた方
＜研究の目的＞ この研究では、放射線治療を受けた患者さんのデータを使用して、放射線の当たり方から様々な細かい特徴を新しく取り出し、治療の効果や安全性に関する指標との関係を調べます。また、治療の前に行うチェックから「放射線が体のどこにどれくらい当たるか」を予測できるようになるか検証します。さらに、機械学習を使用して、個々の患者さんにおける将来の治療計画の結果を予測できるモデルを作ることを目指します。これにより、治療の再計画が必要かどうかを、数値で判断できるようになります。その結果、ますます複雑になっている放射線治療においても、より安全で、安心できる治療を患者さんに提供できるようになると期待されます。
＜研究の方法＞ 当院において強度変調放射線治療を施行した患者さんの放射線治療計画のデータから、様々な特徴を新しく取り出します。さらに、この特徴と治療計画の中で使われる治療の効果や安全性に関する指標（体の中のどこにどれくらいの放射線が当たったかをグラフにしたもの）との関係を調べます。これにより、治療の前に行うチェックから「放射線が体のどこにどれくらい当たるか」を予測できるようになるか検証します。同意撤回後のデータの取り扱いについて、論文公表後は修正できません。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 放射線治療の過程で取得された治療計画に関する情報
＜外部への試料・情報の提供の方法＞ 電子的配信
＜試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名＞ 提供開始予定日：機関の長の初回許可日～研究終了まで 新潟医療福祉大学 西澤正豊
＜研究を実施する機関組織＞ 新潟医療福祉大学 小原佑介

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

中央放射線部 氏名：比内聖紀

電話：03-3972-8111 内線：4110 (PHS) 8837

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方